



人権教育だより R7第5号

令和8年(2026年)3月1日
鹿本農業高等学校
人権教育主任 野尻 貴輝

～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

ご卒業おめでとうございます。3年間振り返っていかがでしょうか。人権教育では、個別の人権課題として、1年次には、「身近な人のことを知ろう」「ハンセン病」「平和教育(海に沈んだ学友たち～沖縄対馬丸～)」「子どもの人権」を学びました。2年次には、「障がい者の人権」「平和教育(消えた女学校 女子生徒たちの沖縄戦)」「統一応募用紙について」を学びました。3年次には、「北朝鮮拉致問題」、「言わない、書かない、提出しない」取組み、「ハラスメント」について学びました。また、人権講話では、「性的マイノリティと人権」「水俣病差別」「ハンセン病差別」について学びました。人権教育は、くり返し学ぶことが大切です。今後も、行政などが主催する人権フェスティバルなどへの参加をよろしくお祈いします。

1月15日(木)人権LHR「ハラスメント」について
動画視聴を通して、パワハラやセクハラなどハラスメントについて学び、身近なハラスメントについて考えました。アルバイト先での出来事などが全体発表では挙げられました。

【生徒感想】(抜粋)

- ・きづかないうちにハラスメントをするかもしれないので、気をつけようと思います。
- ・私はいじめなどされてもあまり周りに相談しない性格なのですが、信用できる人には話を聞いてもらおうと思いました。
- ・ハラスメントは友だちであっても許されないことだと思います。人を下に見ることは絶対せず互いに尊重し合える関係作りをこれから大切にしていきたいです。



3学期心のアンケートの結果について

2月19日(木)に実施しました。昨今のSNSにおける暴力行為等の動画の投稿・拡散を受けて、暴力行為やいじめについて、調査しました。

「学校が楽しいか」という項目では、3年生は95%の生徒が楽しいと感じている一方5%の生徒が楽しくないと感じていました。また、「困ったことや悩みがあるときに誰に相談しますか」という項目では、「友人」が69.2%、「保護者」が56.4%という結果でした。また、「相談しない」と答えた生徒が2.6%でした。誰かに相談できることはとても大切ですが、「誰」に相談することも大切です。一人にこだわらず、さまざまな考えを聞きながら、よりよい人生を生きていきましょう。



人権コラム「皆がいたから・・・」

私の高校卒業式の思い出はクラスメイトの言葉です。私は大学進学を希望しており、卒業式の次の日から後期試験に向けた小論文指導などあったので、たんたんとしておりました。卒業式を終え、クラスに戻ると一人ずつ卒業証書をもらいながらメッセージを言っていました。その中で、ある一人の男子生徒、クラスの中でもリーダー的な存在でしたが、彼が号泣しながら「受検は一人ですものと思っていたが、皆がいたから励みになった」と感謝の言葉を言っていました。確かに、自習室で一緒に勉強しましたが、特に仲良くすることもなかった(挨拶など日常会話はありましたが)ので、そんな風に思っていたことがとても意外でした。今、振り返ると、一人で何か為すのは、とても力が必要になります。しかし、そばで一緒に行動できる人がいると、本当に励みになることが多々あります。ぜひ、これからも「なかま」を大切に、一人で抱えこまず歩いてください。